

『創造都市を創造する』

54. [理論・政策] 重点研究「創造都市を創造する」シンポジウム『グローバル経済の危機と都市の再生』（2008年11月17日）

大阪市立大学大学院 創造都市研究科では、平成17年度より “創造都市を創造する” をテーマに、政策や理論、共生、IT、地域再生等について各班に分かれ重点的に調査研究をしてまいりました。本シンポジウムでは、グローバル経済の危機に伴って日本社会が直面する課題に関する基調講演に続き、これまでの取組みの報告を行い、「創造都市・大阪」実現のために何が必要とされるのか、各班の取組みを横断して考えていきます。都市の中で、様々な分野で活動をされている市民の皆様、政策担当者の方々、さらには、現代都市のあり方を探ろうとする研究者や学生の皆様の奮闘のご参加をお待ちしております。

【日時】2008年11月17日（月）18:30～21:00

【会場】大阪市立大学文化交流センター：大ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【主催】大阪市立大学大学院創造都市研究科

【参加費無料：先着120名まで】

【基調講演】グローバル経済の危機と日本社会の課題

高橋伸彰 立命館大学 国際関係学部 教授

<略歴>

1953年生まれ。1976年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。日本経済研究センター研究員、通産省大臣官房企画室 主任研究官、米国ブルッキングス研究所 客員研究員、日本開発 銀行設備投資研究所 主任研究員、同行総務部次長 兼経営計画室長を経て、1999年より立命館大学国際関係学部 教授、2007年より、同国際関係学部長、同研究科長。主著には、『グローバル化と日本の課題』（岩波書店）、『少子高齢化の死角』（ミネルヴァ書房）、『優しい経済学』（ちくま新書）、『数字に問う日本の豊かさ』（中公新書）がある。

【報告】

危機に立ち向かう創造都市の最新事情

佐々木雅幸 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授

『ハッカーたち』がつくる創造的コミュニティ—KOF（関西オープンフォーラム）の紹介

中野秀男 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授

大阪における若年不安定就業者について考える

島和博 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授

地域活性化にむけて—創造都市キタノ扇町創造村構想

小長谷一之 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授